タイ人の外国旅行記に関する研究

関連キーワード: 東南アジア、タイ、人材交流、観光

研究内容

本研究はタイの非王族・貴族の外国旅行記を分析の対象とし、特に1940-60年代にかけて日本や欧州、中東、東南アジア諸地域を旅し、多数の旅行記作品を残したタイ人旅行作家ブンチュワイ・シーサワットに着目している。

ブンチュワイの記述は、国際旅行が珍しかった当時の、一般的な東南アジア人の目に日本や世界がどのように映ったのかを知る上で貴重な史料である。

ブンチュワイの旅行記の精読、および同時代の他の旅行記との比較分析を通して、国際観光旅行の文化が王族から庶民へと拡大してゆく中で、タイの庶民が自国や対外の意識を草の根からいかに構成していったのかを分析している。

研究者プロフィール

・教養教育センター 講師 西田 昌之
・専門分野 文化人類学
・研究分野 文化人類学・地域研究
・所属学会 日本文化人類学会・東南アジア学会
・主な経歴 オーストラリア国立大学卒。タイ国
チェンマイ大学助教授、エジプト国カイロ大学客員准教授を経て現職。
主な著書『Negotiating Community: Local Adaptation Strategies in State Forest Policy in Northern Thailand』

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

タイからのインバウンド観光客を増加させるために、取材陣の引き入れ、観光地案内・接遇、日本紹介が可能である。すでにタイの大手出版社の編集者と一緒に神奈川のアーティストビレッジをインタビューして回り、ガイドブックを作成。その2年後、東京周辺のマイクロ・ブリューリーを紹介するガイドブックを出版し、タイで人気となった。加えて、その後、大手ビール工場経営陣の日本視察のアテンドも行っている。また行ったことはないが、逆に日本側のタイ市場への地域商品の広報支援や高度人材紹介も可能であろう。

研究者への連絡先

産学連携推進センター
Email srcenter@mail.Tohoku-gakuin.ac.jp
電話 022-354-8122